

富士紀行（29） 創意工夫の才！

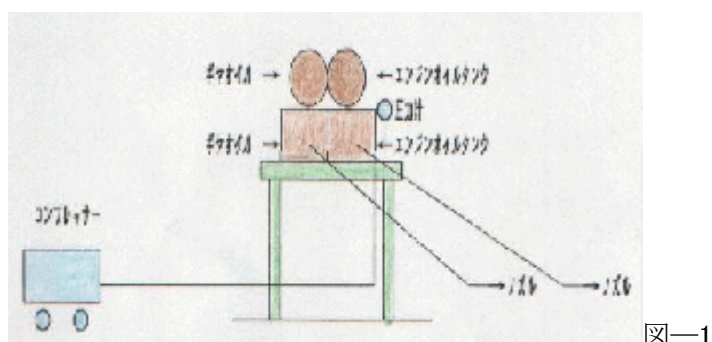
先般、時間があつたので、校内を色々と歩き回った。学校管理部輸送課の整備工場に入ってみた。見るからに年代物と思われる建物であり、早急な建て直しが必要だろうと思われ、勤務員も御苦労だなと感じつつ見せて貰った。とある、勤務員が「実はここの整備工場は、新聞にも掲載され、見学者が多数訪れた隠れた富士学校の名所だったんです。」と説明してくれた。

今では町の整備工場では当たり前になっている色々な創意工夫が為されている。学校創設当時の自衛官、技官等が正に手作りで整備所を立ち上げ、そこに独自のアイデアを込めて使い勝手の良いものとなっている。草創期の熱気を感じ取って貰えれば幸いである。その幾つかを紹介しよう。

見学希望の自衛官は輸送課へ、自衛隊員以外は学校広報班を通じて申し込みして貰いたい。

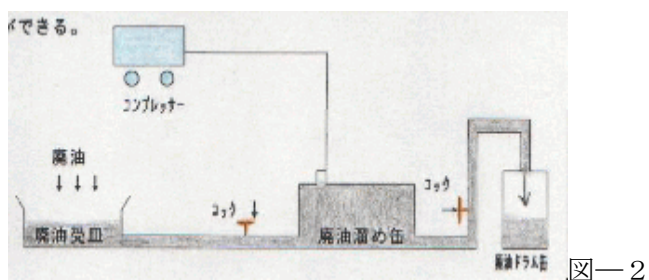
1 圧力給油装置

車両のエンジンオイル及びギヤオイルを交換または補充するための給油方法として、一般的にオイルメジャー及びオイルジョッキを使用しているが、これによってオイルをこぼしたりする事も多い。また時間や隊力を要する。これが解消のため、コンプレッサーを使用して、圧力空気でギヤオイルやエンジンオイルを送るシステムである。



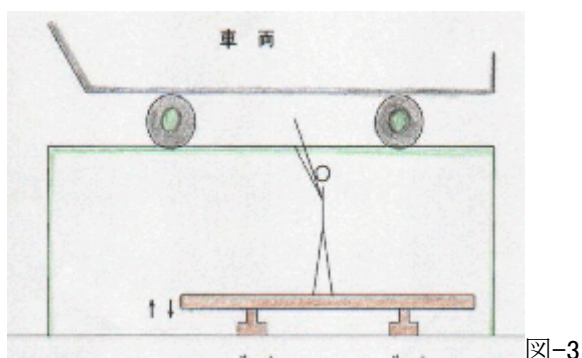
2 圧力式廃油処理装置

交換されたエンジンオイルやギヤオイルの一般的な処理法は、廃油缶に排出された廃油を手作業で廃油ドラム缶に移し替えているが、隊力的にも時間的にも大変である。従って、図のような装置により、廃油を半自動で廃油缶に移し替えることが出来る。



3 可動式床板のピット

車両の下回りの点検及びオイル交換時の廃油作業等、通常車両の下に潜り、車種によっては、路面高が違うので、枕木等を利用して各人の身長等に合わせた作業を実施しているが、安全性の面からも足場設定等に時間を要すること等からも、問題がある。従って、図のようにピットの床板をジャッキで調整し、作業する人の身長に合わせたピットの高さを確保して、作業の安全性と容易性を確保できる。



4 圧力洗浄機

車両のベアリング等に付着している汚れたグリスを、一般的にはハケ、ブラシ等で除去・洗浄しているが、この方法では完璧ではない。時間もかかり且つグリスの量も結果的に多い。コンプレッサーのエアの圧力を持って付着した汚れたグリスを除去洗浄すると汚れることもなく短時間で作業が終了する。

